

器 32 医療用吸引器/ 器 76 医療用吸入器
管理医療機器
電動式可搬型吸引器 (36616030)/耳鼻咽喉科用ネブライザ (70451000)

吸引器 SPIKAL SD130Air

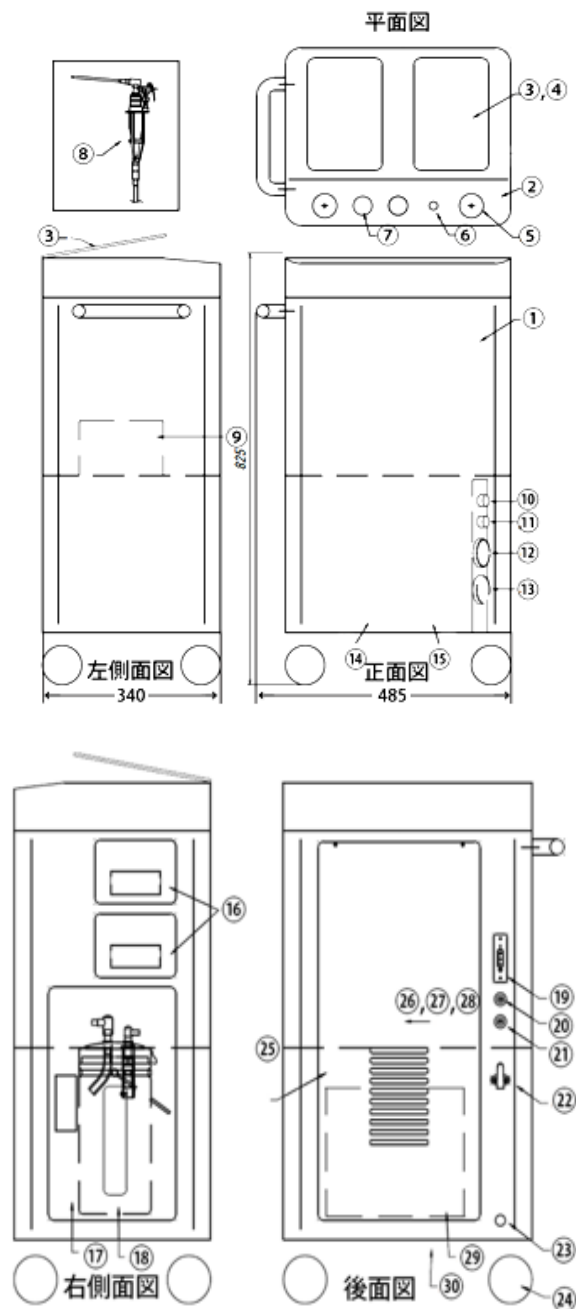
【禁忌・禁止】

- 1) 他の医療機器との併用は不可。[誤動作のおそれがある]

【形状・構造及び原理等】

1. 外観形状

TYPE A 商品コード 1001126-1



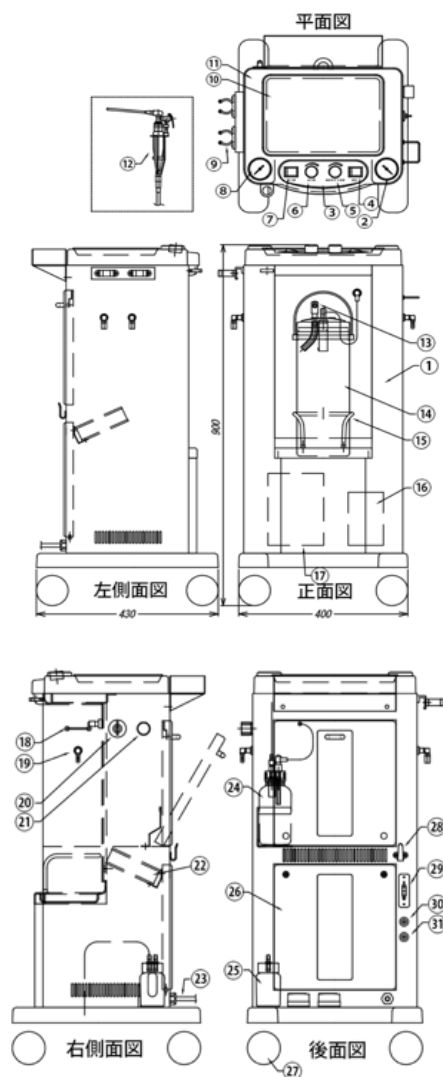
各部名称と付属品

①	本体	⑩	引き出し
②	表面パネル	⑪	吸引瓶格納扉
③	トレイカバー	⑫	吸引瓶 (直型 2000ml)
④	深型トレイ	⑬	電源スイッチ
⑤	綿棒缶	⑭	吸引ポンプヒューズ
⑥	吸引アダプタ	⑮	コンプレッサーヒューズ
⑦	スプレーホルダー	⑯	コード掛け
⑧	直結スプレー	⑰	電源コード (コード長 2m)
⑨	コンプレッサー	⑱	キャスター
⑩	吸引圧調整器	⑲	裏蓋
⑪	スプレー圧調整器	⑳	吸気瓶 (捻口瓶 100ml)
⑫	吸引圧メーター	㉑	排気瓶 (捻口瓶 100ml)
⑬	スプレー圧メーター	㉒	安全弁用瓶 (捻口瓶 100ml)
⑭	エアースイッチ	㉓	吸引ポンプ
⑮	吸引スイッチ	㉔	冷却ファン



吸引器 SPIKAL SD130Air

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。



①	本体	⑩	コンプレッサー
②	吸引圧メーター	⑪	吸引ポンプ
③	表面パネル	⑫	通気引掛け金具
④	吸引スイッチ	⑬	通気用ゴム口
⑤	吸引圧調整器	⑭	カランコック
⑥	スプレー圧メーター	⑮	通気圧調整器
⑦	エアースイッチ	⑯	冷却ファン
⑧	スプレー圧メーター	⑰	電源コード (コード長 2.5m)
⑨	スプレー圧ホルダー	⑱	吸気瓶 (掬口瓶 400ml)
⑩	トレイ	⑲	排気瓶 (掬口瓶 100ml)
⑪	トップカバー	⑳	裏蓋
⑫	直結スプレー	㉑	キャスター
⑬	吸引アダプタ	㉒	コード掛け
⑭	吸引瓶 (直型瓶 3000ml)	㉓	電源スイッチ
⑮	吸引瓶ホルダー	㉔	吸引ポンプヒューズ
		㉕	コンプレッサーヒューズ

**2. 構成

② 本体

②付属品

(TYPE A)

- ・吸引瓶 (直型瓶 2000ml) : 商品コード 1007311
- ・直型瓶キャップ式 : 商品コード 1007411
- ・吸気瓶 (掬口瓶 100ml) : 商品コード 1007303-1
- ・クリームキャップ式白細フィルター付 : 商品コード 1007420-2
- ・排気瓶 (掬口瓶 100ml) : 商品コード 1007303-1
- ・クリームキャップ式 ゴム口 No. 8 1 個付 : 商品コード 1007419-7
- ・トレイ (深型 220×150×73) 2 個 : 商品コード 1001875

(TYPE B)

- ・吸引瓶 (直型瓶 3000ml) : 商品コード 1007312
- ・直型瓶キャップ式 : 商品コード 1007411
- ・吸気瓶 (掬口瓶 400ml) : 商品コード 1007316
- ・クリームキャップ式白細フィルター付 : 商品コード 1007420-2
- ・排気瓶 (掬口瓶 100ml) : 商品コード 1007303-1
- ・クリームキャップ式 ゴム口 No. 8 2 個付 : 商品コード 1007419-4
- ・トレイ (浅型 285×200×18) 1 個 : 商品コード 1001897-1

3. 名称

販売名 : 吸引器 SPIKAL SD130Air

4. 作動・動作原理

吸引ポンプから配管、接続された吸引瓶内を陰圧することにより生体内からの血液、体液、痰、鼻水等の分泌物をカテーテル、吸引ホースを介して吸引瓶に導入させます。また、コンプレッサーの圧縮空気を利用し、スプレー内の薬液をミスト化させる。

【使用目的又は効果】

外科手術時、救急時、診察時等に血液、体液、脂肪、痰、鼻水等の吸引に用いる。又、霧状にした薬液等を噴霧させる。

【使用方法等】

1. 電源コード先のプラグを、医療用電源コンセントに差込んでください。

2. 電源スイッチを ON にしてください。

吸引装置 (SUCTION)

①吸引 (SUC) スイッチを ON にしてください。(TYPE A は、アダプタを持ち上げるだけで ON になります。)

②カテーテル先 (他社製品) から水等を吸わせて、吸引圧メーターを見ながら吸引圧調整器で吸引力を調整してください。吸引圧調整器は右に回すと吸引圧が強く、左に回すと弱くなります。

③カテーテル先 (他社製品) で生体内から排液、痰等の分泌物を吸引させます。

④使用毎に、カテーテル先 (他社製品) から水等を吸わせて、吸引ホース内 (他社製品/接続口外径 8mm 内径 6mm) を洗浄してください。

⑤吸引スイッチと電源スイッチを OFF にしてください。

スプレー装置 (SPRAY)

①カランコックを SP (スプレー) に切り替えてください。

②エア (Air) スイッチを ON にしてください。(TYPE A は、スプレーを持ち上げるだけで ON になります。)

③スプレーの押しボタンを押すと、スプレー先から薬液がミスト化して噴霧されます。送気圧メーターを見ながら送気圧調整器で送気力を調整してください。送気圧調整器は右に回すと送気圧が強く、左に回すと弱くなります。

④エアースイッチと電源スイッチを OFF にしてください。

通気装置 (VENTILATION) 付の機種 (TYPE B)

①カランコックを VE (通気) に切り替えてください。

②エア (Air) スイッチを ON にしてください。

③通気状況と送気圧メーターを見ながら、送気圧調整器で圧力を調整してください。送気圧調整器は右に回すと圧力が強く、左に回すと弱くなります。

④エアースイッチと電源スイッチを OFF にしてください。

【使用上の注意】

1. 〈重要な基本的注意〉

水がかからない場所、化学薬品・ガソリン等の引火性溶剤・ガス類等が周辺にない場所、空気汚染・空気感染の恐れがない場所、直射日光・ほこり・塩分・イオウ分・傾斜・振動・冷暖房装置の直前等で悪影響を受けない場所で使用してください。

吸引器 SPIKAL SD130Air

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。

2. 〈その他の注意〉

- ①使用前は、吸引瓶内に消毒液を少量入れ、吸引瓶以降の汚染防止を心掛けてください。使用中に吸引瓶に溜まる排液は、吸引瓶に表示してある廃棄指示線以下で必ず捨ててください。使用後は洗浄・消毒し、常に感染予防してください。消毒液は使用後の洗浄を容易にし、菌の発生を防ぎます。
- ②吸引ホース及びカテーテルは、一人毎に廃棄し、再度使用しないでください。
- ③1回の使用毎に、電源スイッチを切ってください。
- ④電源コードを故意に曲げたり、捻ったり、或いは過剰な負荷を与えないでください。
- ⑤使用中は常に患者の容態、作業状況を確認し、症状の悪化、機器の万一の故障等に対して直ちに対処できるように心掛けてください。
- ⑥機器は原則的に患者毎に洗浄し、消毒液で噴霧・拭き取りして二次感染を防止してください。

【保管方法及有効期間等】

1. 〈保管方法〉

周囲温度 5～35℃、相対湿度 30～75%、気圧 80kPa～106kPa（高度 2000m 以下）とし、水がかからない場所・化学薬品・ガソリン等の引火性溶剤・ガス類等が周辺にない場所、空気汚染・空気感染の恐れがない場所、直射日光・ほこり・塩分・イオウ分・傾斜・振動・冷暖房装置の直前等で悪影響を受けない場所で保管してください。

2. 〈有効期間〉

10年[自己認証（自社データ）による]

（但し、指定された使用環境において標準的な頻度で使用され、指定の保守点検と定期交換部品を交換した場合の年数であり、使用状況によって異なる場合があります。また、点検結果により修理またはオーバーホールが必要であれば実施してください。尚、ケースの使用耐用年数が本器の有効期間とします。）

主要な構成部品名	使用耐用年数	保守部品供給
ケース	10 年	無し
モーター	5000 時間	有り
電気部品、配管	5 年	有り

**※使用頻度、環境条件により変化しますので、参考値としてください。

【取扱い上の注意】

1. 接続電源が AC100V、50/60Hz で、360W の容量が満たされているか確認をすること。
2. 吸引瓶キャップの装着状況を確認すること。
3. 吸引ホース、カテーテル及び各ジョイント部の装着状況を確認すること。
4. 吸引ホース先を押さえた時、吸引圧メーターの数値が、規格値まで上がるかどうか確認すること。上がらない時は、吸引ポンプの性能低下・故障のため、修理依頼をお願いします。
5. 吸引瓶の持ち運びは、必ず吸引瓶に付いているさげ手を持ち、運ぶようにすること。キャップは、はめ込み式のため外れ易く、瓶はガラス製のため、すべて落とす危険があります。
6. 初めて利用する吸引ホース、カテーテルは、事前に水等で吸引テストを必ず行なってから使用すること。
7. 停電について
電源スイッチを切ってください。停電復帰時に突然作動し危険です。電源コードをコンセントから抜取ってください。足にからめると危険です。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検〉

点検項目

1. 目視による点検（使用前の日常点検）

外観確認

- ①機器に破損箇所がないか確認してください。
- ②電源コードの被覆に裂け目、こげ目がないか確認してください。

清浄性の確認

- ①機器が清浄な状態であることを確認してください。
- ②吸引瓶内のポンプ側（吸引瓶吸気し型ジョイント受け）下に、オーバーフロー防止弁が設置されています。このオーバーフロー防止弁の活用は、吸引瓶以降への排液の流入は防止されますが、弁が排液と接触し、毎回洗浄しなければならないので、従来通りに排液は廃棄指示線以下で捨てる様に、心掛けてください。

- ③吸引瓶内に汚れがあれば、洗浄・消毒し乾燥させてください。湿気が吸引力の低下を招きます。また吸引フィルターが、水滴の付着、汚れ等で目詰まりしていないか確認してください。使用頻度にもよりますが、6ヶ月以内を目安に早めに交換してください。
- ④排気瓶に水分が溜まる事があります。同様に洗浄・消毒してください。

2. 機能の確認（随時）

- ①機器をしばらく使用していない時は、事前に2～3分空運転させ、吸引圧調整器で出力の強弱・作動音を確認してください。
- ②機器内の部品の破損・外れが原因で、機器をゆらすと異常音がしないか確認してください。
- ③吸引ホース先から、吸引圧を伴った空気が流れているか点検してください。（ホース・フィルター類の折れ・ゆるみ・詰まり）
- ④吸引ポンプ・コンプレッサーにサーモプロテクター（温度ヒューズ）が設置されています。冷却ファンが万一故障した場合、モーターの表面温度が 80℃（±4）に達すると、安全の為、モーターが停止します。尚、モーターの表面温度が 65℃（±5）に下がると復帰します。
- ⑤吸引ポンプ・コンプレッサー用のヒューズが設置されています。万一、容量以上の過電流がかかりますと、安全の為ヒューズが切断されます。その場合はヒューズ交換をお願いします。
※再度電源スイッチを入れ同様であれば、電氣的故障のため、修理依頼をお願いします。

3. 洗浄・消毒・滅菌（使用後の日常点検）

- ①本体の汚れは、水・お湯・希釈した中性洗剤で拭き取り、更に感染症予防のため消毒液を噴霧し拭き取ってください。

- ②吸引瓶・吸引瓶・排気瓶は、各部を取り外して洗浄・消毒・滅菌してください。

（各配管接続部は、ジョイント式となっています。抜き差しは、指先で左右にねじるように行なってください。また、ジョイントにホースを差込む時は、必ず瓶キャップからジョイントを抜き、手に持って差込んでください。瓶キャップにジョイントをはめたままで行なうと、力の加減でジョイントがすべり、指先をぶつけて痛めることがあります。ご注意ください。）

・ **ガラス・金属**

洗浄：「水・お湯・希釈した中性洗剤で洗浄」
消毒：「煮沸消毒（15 分）」
滅菌：「オートクレーブ 121℃（20 分）」「酸化エチレンガス（EOG）滅菌」

・ **樹脂・ゴム・ホース類**

洗浄：「水・お湯・希釈した中性洗剤で洗浄」
消毒：「薬液消毒」
滅菌：「酸化エチレンガス（EOG）滅菌」

〈業者による保守点検〉

- 安全のため、24ヶ月毎に以下の定期点検を推奨します。
1. 機器が機械的及び機能的損傷を受けていないかどうかの点検。
 2. 安全関連のラベルが判明できるかの点検。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者・製造業者
キッズメディカル株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-27-12
TEL (03) 5615-8822 FAX (03) 5615-8855



吸引器 SPIKAL SD130Air

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。